

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

CTS就業規則の改悪強行弾劾

「契約・パートは責任ある仕事をしていない」の大嘘

CTS（JR千葉鉄道サービス）は、労働組合にも職場にもなんの説明もなく、ひそかに格差固定化の就業規則改悪を強行しました。扶養手当も廃止して、労働者が生きていく上で必要な「生活給」をなくし、正社員からも65歳以降の再雇用の時に班長・主任の役職・手当をはく奪する重大な不利益変更が一方的に強制されたのです。

「同一労働同一賃金」を悪用

これまで契約・パート社員には無期転換から5年で班長試験、班長登用から4年で主任試験の受験資格があったのも廃止されました。

その上、「職務に対する知識習得、技能向上などの自己啓発、意見具申などの業務改善」の義務も廃止したのです。

「職務や責任が違うから正社員と格差があるのは当然」という弁明を行うためです。

不条理な非正規労働者の現実を改善するために「同一労働同一賃金」が始まったことを逆手に取って、「(わざわざ)も

いでなければ) 格差は当然」「一生最低賃金でいい」とするのは卑劣です。

「知識も技能も必要ない」のウソ

そもそもCTSは契約社員やパート社員に頼って運営されています。社員の3分の2は契約・パートであり、現場を担っている者の多くが非正規雇用なのです。

契約社員で機器取扱者として責任ある仕事をする人、日々の業務で作業の責任者をやる人も多い。駅でも車両センターでも正社員とまったく同じ担務をこなす。仮にミスをすれば責任は厳しく追及されてきました。

「契約・パートは責任ある仕事をしていない」など大ウソです。契約社員やパート社員に知識も技能も業務改善も必要ない？ ふざけるのもいい加減にしろ！

職場からの怒りの声を

しかも動労千葉が緊急の申し入れを行った3月30日に、CTSは裏で労働基準監督署に就業規則変更を届けていたのです。

現場への周知もまったく行われていません。4月16日の所長会議で「説明会を順次行う」と確認したというのが職場での説明会はまったく行われていません。隠れてコソコソと改悪を強行したのです。共に怒りの声をあげよう。

